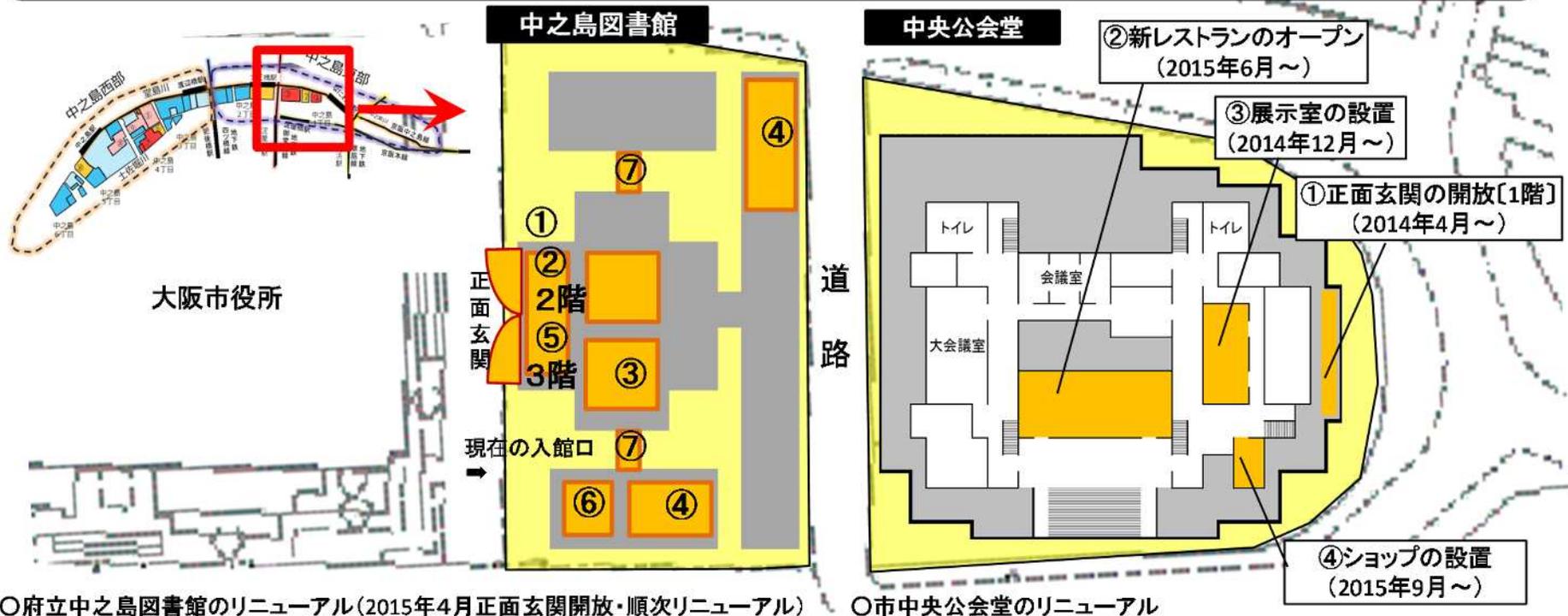


中之島図書館・中央公会堂の有効活用

<めざす姿>

・中之島図書館、中央公会堂は国指定の重要文化財。二つの建物を「大阪の知と文化と歴史のシンボル」を共通コンセプトに、建物資産、図書館の貴重な蔵書などを活かすためのリニューアル、2施設の連携事業を実施し、中之島エリアの集客及び活性化をめざす。



		リニューアル前	リニューアル後
①	外観	施設全体が老朽化	外壁を洗浄し、白亜の殿堂と評される外観を復活
②	正面玄関	閉鎖/階段下入館口が分かりにくく、受付後、持ち物を預けるシステム	正面玄関を改装し、フリー入退館を実施
③④	館内	交流等に使える施設がない	大展示室、多目的スペースの設置、記念室(⑤)の改修
⑥		閲覧室のほかに館内でくつろげるスペースがない	喫茶スペース等を新設(検討中)
⑦		設備の老朽化	トイレを改修し、アメニティを向上
	管理体制	府による直営	指定管理者による施設管理、また企画展示・イベント等を実施し魅せる図書館へ

		リニューアル前	リニューアル後
①	1階 正面玄関	大集会室利用時以外は、玄関が閉鎖	正面玄関の開放 (2014年4月～)
②	地下1階 館内	レストラン目的の来場者の確保など、レストランの活用が不十分	アイコン的存在となりうる新レストランのオープン (2015年6月～)
③④		近代建築の魅力を伝えるサービスが不十分	展示室の設置 (2014年12月～)、ショップの設置 (2015年9月～)

水都大阪の取組み

民間と行政のパートナーシップのもとで新たな展開を図るため、府、市、経済団体等で構成する「水と光のまちづくり推進会議」を設置

同会議のもと民主導の都市魅力創造・まちづくりの推進を担う「水都大阪パートナーズ」を設置、それを支援するため府市合同組織「水都大阪オーソリティ」を設置

< 取組み成果 >

都心部に口の字に流れる川（堂島川・土佐堀川、木津川、道頓堀川、東横堀川）からなる水の回廊を有するまちの特徴を活かし、府民・市民・観光客が、水辺で食、イベント、景観等を年間通じて楽しむ中之島地区は大阪を代表する観光スポットをクルーズ船で巡ることができる「水都大阪」をめざして、ハード・ソフトの整備を進めてきた。

【中之島地区における主な水辺の魅力スポットやクルーズ、イベントの開催】



< 凡例 >

- 水辺の魅力スポット (河川の規制緩和を活用した都市地域再生等利用区域における 水辺のレストランや川床等)
- 水辺の賑わい創出
- 定期のクルーズ
- ライトアップ等整備橋梁
- 船着場 (公共船着場及び定期クルーズ就航民間船着場)
- 水辺の遊歩道



① 中之島GATEの様子



② アクアライナー



③ 中之島オープンテラス



水都大阪2015におけるラバーダック